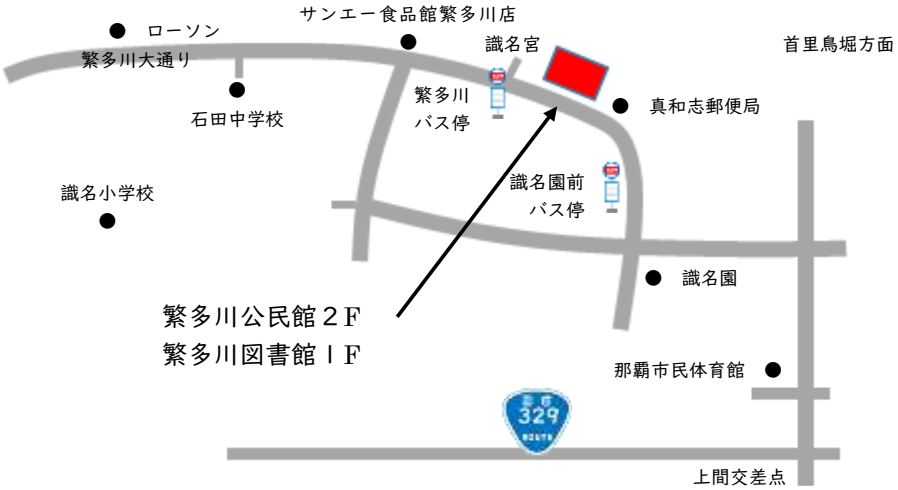
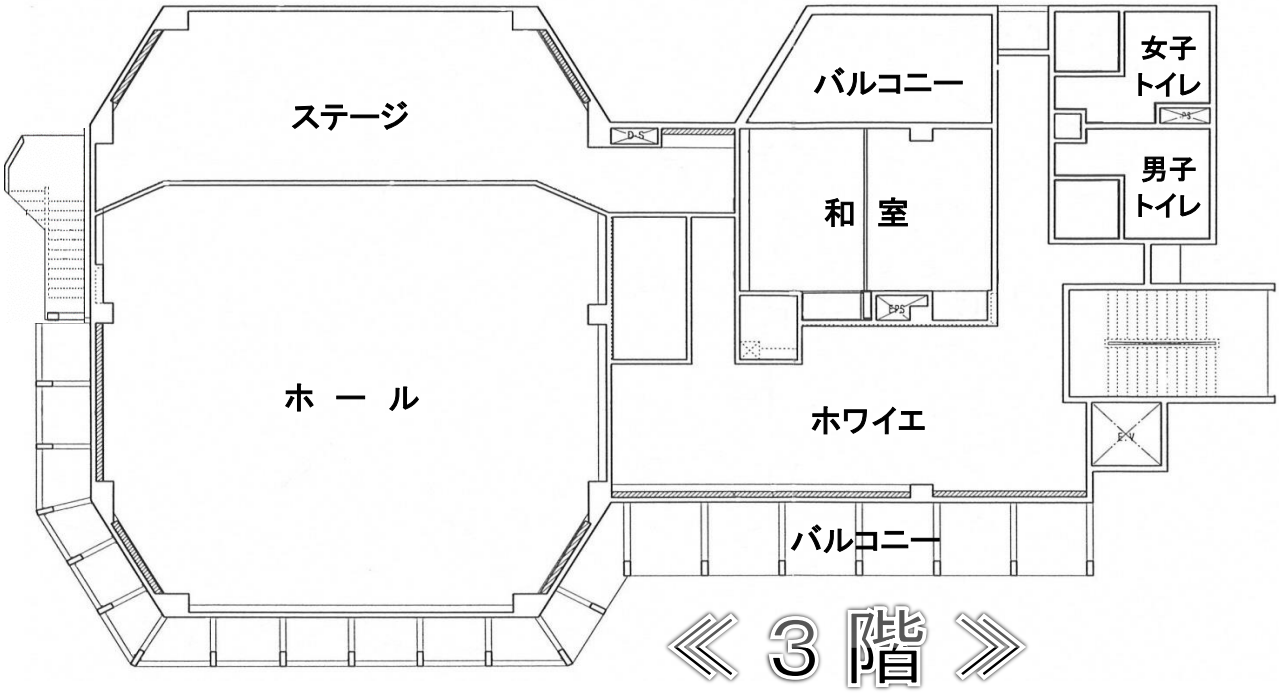
# 繁　多　川　公　民　館




〒902-0071　那覇市繁多川 4-1-38
TEL 917-3448　　FAX 835-4903

# 利用施設のご案内

≪２階≫




≪３階≫

| 部 屋 名 | 利用可能人数 | 用 途（ 備 品 ） |
|---|---|---|
| ホール | 200名程度 | 講演会・研修会・発表会（ピアノ・イス・テーブル） |
| 和 室 | 30名程度 | 茶道・生け花・和裁・着付け・舞踊（テーブル・姿見） |
| ロビー | | 談話・学習スペース（イス・テーブル） |
| 研修室1 | 40名程度 | 研修会・講座・会議（イス・テーブル） |
| 研修室2 | 25名程度 | 研修会・講座・会議（イス・テーブル） |
| 実習室 | 25名程度 | 調理実習・研修会・講座・会議 |
| | | （調理用器具・イス・テーブル） |

# Ⅰ　繁多川公民館の沿革

「那覇市社会教育施設整備計画」（平成５年２月）に基づいて、那覇市で７番目の公民館として計画された繁多川公民館は、繁多川・真地・識名地区の生涯学習の拠点として、平成１５年１２月２２日に建設が着手され、翌年の平成１６年１１月２５日に竣工した。

施設の設計にあたっては、地域の方々の参加により開催されたワークショップの結果や、建設準備委員会からの要望を元に検討した結果、施設全体を段差のないつくりとし、広いエレベーターや階段対応のリフトを設置したユニバーサルデザインを採りいれた施設になっている。

周辺の環境整備に関しては、建設前の既存の木々を可能な限り残してみどりを確保するとともに、施設前や屋上に芝生の広場、屋上菜園等を設け施設の緑化に努めている。

また、大きな窓で採光を図るほか、屋上に降った雨を地下のタンクに貯水し、施設内のトイレ洗浄や散水に活用する等、環境に配慮した設計がなされている。

平成17年１月５日　社会教育・スポーツ課　開館準備グループ（主査　田島壽博、主査　名渡山桂子、主査　平良尚子、主任主事　上江洲寛）で開館準備を進めるなか、業務の一部をＮＰＯ法人なはまちづくりネット（代表　田端温代）に委託された。

２月10日　館長　田島壽博が発令された。

４月１日　那覇市繁多川公民館が発足された。

４月２日　繁多川公民館及び図書館の開館式が行われ、利用団体・サークルへの公民館施設の提供が開始された。

６月７日　開館記念講座「琉球漢詩とゆんたく話と詩吟」が開催された。

平成18年４月13日　繁多川公民館利用団体連絡協議会設立総会が開催された。

11月25日　第１回繁多川公民館まつり前夜祭（ダンスパーティー）が開催された。

11月26日　第１回繁多川公民館まつり開催。舞台発表や作品展示、活動紹介などが行われた。

平成19年４月１日　館長　田島壽博が配置替えにより、館長　宇根克が発令された。

11月24日　11月24日、25日の両日にわたって、第２回繁多川公民館まつりが開催された。

平成20年４月１日　委託期間の満了に伴う新規受託団体の企画提案書審査の結果、ＮＰＯ法人なはまちづくりネット（代表　大城喜江子）への一部業務委託を継続することになった。

平成22年11月２日　第63回優良公民館として文部科学大臣表彰を受ける。

平成23年４月１日　館長　宇根克が配置替えにより、館長　新垣絹代が発令された。

平成23年４月１日　委託期間の満了に伴う新規受託団体の企画提案書審査の結果、ＮＰＯ法人なはまちづくりネット（代表　大城喜江子）への一部業務委託を継続することになった。

平成25年３月28日　第14回「朝日のびのび教育賞」を受賞する。

４月１日　館長　新垣絹代が退職により、館長　高吉情次が発令された。

平成26年４月１日　委託期間の満了に伴う新規受託団体の企画提案書審査の結果、ＮＰＯ法人１万人井戸端会議（代表　南信乃介）へ一部業務委託をすることになった。

平成27年４月１日　指定管理者導入により、新規受託団体の企画提案書審査の結果、ＮＰＯ法人１万人井戸端会議（代表　南信乃介）への指定管理者が決定する。

令和２年２月14日　第72回優良公民館として文部科学大臣表彰と相互評価特別賞を受ける。

令和３年１月吉日　第８回「全国公民館報コンクール 銀賞」を受賞する。

# Ⅱ　令和５年度繁多川公民館事業目次

**１　学習風景（写真）**　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５５

**２　成人一般対象事業**
〔１〕　市民講座
◇学校にお泊まり！防災キャンプ in しきな小学校　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５６
〔２〕　健康講座
◇ココロとカラダを整える美姿勢ヨガ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５７

**３　高齢者対象事業**
〔１〕高齢者学級
◇！何でも相談室！　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５８

**４　青少年対象事業**
〔１〕少年教室
◇はんたがわプレーパーク　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５９
〔２〕青年講座
◇おたすけ隊&インターンシップ受け入れ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６０

**５　家庭教育事業**
〔１〕家庭教育学級
◇繁多川おやこそだて園　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６１

**６　その他の事業**
〔１〕地域連携事業
◇あたいぐぁープロジェクト　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６２
◇識名園友遊会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６３
◇真和志地区地域活性委員会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６４
◇公民館フリースペース活用事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６５
◇新春もちつき会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６６
〔２〕学社融合事業
◇キャリア教育プロジェクト　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６７
〔３〕プロポーザル事業
◇コミュニティー支援『地域計画　教育部』　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６８
◇コミュニティー支援『地域計画　福祉・防災部』　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６９
◇コミュニティー支援『グローバル公民館』～世界へ羽ばたこう～　・・・・・・・・・・・１７０

**７　公民館まつり**　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７１

## 1　学習風景

市民講座
【学校にお泊まり！防災キャンプ in しきな小学校】

健康講座
【ココロとカラダを整える美姿勢ヨガ】

少年教室
【はんたがわプレーパーク】

コミュニティ支援
【地域計画教育部】
ポケカ大会

学社融合事業
【キャリア教育プロジェクト】

コミュニティー支援
【グローバル公民館～世界へ羽ばたこう～】

## ２　成人一般対象事業

### 〔１〕市民講座

**学校にお泊まり！防災キャンプinしきな小学校**

趣　　旨：近年、沖縄でも自然災害による危険性が高まっている。８月の台風６号でも、大規模な停電や断水がおき避難所が開設され様々な人が避難した。
ただ、ほとんどの方は避難所の体験をしたことがないため、もしも大規模災害が起こったときにパニックになる可能性がある。なので、避難所である学校に宿泊することで、もしもの時に避難所を活用できるノウハウを身につけるきっかけとする。また、識名小学校 PTSA など地域の団体と連携することで、市民自らが避難所を運営する際に必要なことを学ぶ場とする。
期　　間：令和５年１１月１１日（土）～１１月１２日（日）　全1回
時　　間：１４：００～翌１０：３０
場　　所：那覇市立識名小学校　体育館及び周辺
対　　象：識名小学校に通っている親子、地域住民、興味関心のある方
受 講 料：宿泊者のみ１人５００円　　定員：２０組
申込人数：３６組９５人（うち受講決定人数３６組９５人）　参加延べ人数：２６組８７人
共　　催：識名小学校ＰＴＳＡ、那覇市防災危機管理課
協　　力：琉球大学工学部清水研究室、繁多川地域計画
講　　師：稲垣 暁（災害ソーシャルワーカー・防災士）

★★　学習プログラム　★★

| 回 | 期　日 | 内　容 | 参加人数 |
|---|---|---|---|
| 1 | １１月１１日（土）<br>～<br>１１月１２日（日） | 防災関連ブースの展示（ペット防災）、受付<br>防災さんぽ（識名小学校内外の見学）<br>紙食器づくり、炊き出し、持ち物シェア、振り返り会 | ２６組８７人 |

【参加者の声】
・防災さんぽと稲垣先生の講話を通して、「歩く」ことは大切ということを学んだ。
・災害時は家族がバラバラになることがあるので、荷物は家族で分けてもつのではなく、１人１人が色々な物をもつなど工夫が必要だと思った。
・大人が必要なものと子どもが必要だと思っているものは違うという学びを得た。
・子どもの遊び道具はいらないかと思ったが、暇をしたり泣いたりすることもあるため、遊び道具を持参することも大切だと思った。

【まとめ】
定員より大幅に参加申込があり、地域の皆さんの興味関心が高いことが分かったが、小さな子ども連れはいたが、高齢者の参加がなかった。もう少し地域の方も参加できるような仕掛けや仕組みが必要だった。
運営会議や宿泊体験、持ち物のシェアを通して、参加者同士の気づきや更なる防災意識の向上が見られた。
次回開催時は、もう少しレベルを上げて防災力をさらに向上させる場も求められる。

## 〔２〕　健康講座

### ココロとカラダを整える美姿勢ヨガ

趣　　旨：ヨガを通して、身体をほぐし、心をリラックスさせるなど心身の健康増進を図る。
　　また、公民館で行うことで「公民館とはどのような施設なのか」を知ってもらうきっかけとし、今後の利用促進を図る。
期　　日：令和５年６月３０日（金）～７月２８日（金）　全５回
時　　間：１９：００～２１：００　場所：那覇市繁多川公民館　２階実習室及び３階ホール
対　　象：那覇市在住・在勤・在学の運動に制限のない方、全５回参加可能な方
受 講 料：２００円（材料費、保険代として）
定　　員：１０人　　申込人数：１７人（うち受講決定人数１７人）　参加人数：１７人
参加延べ人数：７６人
講　　師：井上みなみ　（一般社団法人沖縄ヨガ協会）
協　　力：一般社団法人沖縄ヨガ協会

★★　学習プログラム　★★

| 回 | 期　　日 | 内　容 | 人数 |
|---|---|---|---|
| 1 | ６月３０日（金） | 胸周りを開くヨガ（肩こり、猫背の改善） | １３人 |
| 2 | ７月　７日（金） | 美脚ヨガ（足のむくみ、歪みに効果的） | １７人 |
| 3 | ７月１４日（金） | 美腹ヨガ（お腹引き締め、便秘解消に効果的） | １５人 |
| 4 | ７月２１日（金） | 背中、二の腕引き締めヨガ<br>（上半身の引き締め、代謝の促進に効果的） | １６人 |
| 5 | ７月２８日（金） | キャンドルリラックスヨガ<br>（ゆったりと全身を伸ばすクラス） | １５人 |

【参加者の声】
・ヨガは初めてですが、とても楽しく参加できました。家でもやっているヨガのポーズもあって子ども達も面白がって真似します。
・気持ちよかったです。マインドフルネスではないですが、仕事、育児と離れ「自分」「体」のことしか考えられなくなる時間、気持ちのリセットになりました。哲学もよかったです。

【まとめ】
カラダを動かすだけでなく、参加者同士の交流する時間やヨガの哲学を学ぶ時間も設けることもでき、講座終了後には有志が残りサークルを設立するに至った。今後も、働き世代など公民館の利用の少ない世代に向けて利用促進を図るような講座を企画していきたい。

# ３　高齢者対象事業

## 〔１〕　高齢者学級

**！何でも相談所！**

趣　　旨：『介護施設に入りたい。福祉用具を借りたいけど、誰に相談していいかわからない』との相談があり生まれた企画。超高齢化社会により、一人暮らしや夫婦暮らしの中、今後の生活に不安がある為、介護保険の仕組みを学び老後に備えたい。
期　　間：令和５年９月２９日（金）
時　　間：１０：００～１２：００
場　　所：繁多川公民館　３階ホール
対　　象：６５歳以上の高齢者及びその家族、興味・関心のある方
受 講 料：無料　　定員：３０人　　申込人数：１４人（うち受講決定人数９人）　　参加延べ人数：９人
講 師 名：濱川 尚志・比嘉 美矢子（那覇市包括支援センター繁多川）
協　　力：ダスキンヘルステント識名ステーション

★★　学習プログラム　★★

| 回数 | 日　程 | 内　容 | 参加人数 |
|---|---|---|---|
| 1 | ９月２９日（金） | ・介護保険を受けるには？<br>・特別養護老人ホームと有料老人ホームの違いについて<br>・介護予防体操<br>・福祉用具体験 | ９人 |

≪講話風景≫

≪福祉用具体験≫

【参加者の声】
・介護保険はすぐに利用できると思っていたけど、申請が必要だと初めて知りました。
・講師の方が面白楽しく進め、色々な話が聞けてとてもよかった。
・いい話を聞けましたが、数日後には忘れてしまうのが残念です。
・１２年前、母の介護を自宅で行っていましたが、現在と状況が変わっていて参考になりました。

【まとめ】
地域の方からの声で開催したが、定員にも満たなく残念だった。
当日、５人のキャンセル（連絡なし）があり、参加人数が減ってしまった。高齢者対策の講座では、実施日の前日には再度連絡を入れるなど工夫が必要と感じた。
福祉用具への興味関心が高く、講座終了後も質問を行ったり、実際に体験する方が多かった。

# ４　青少年対象事業

## 〔１〕　少年教室

### はんたがわプレーパーク

趣　旨：「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、身近な自然の素材や廃材、道具を使って子どもたちが自分で遊びを創り出すことのできる遊び場を提供し、子どもたちの自主性や冒険心を育むことを目指す。同時に、親を含めた地域の幅広い世代が集い交流しながら互いに技術や知恵を学びあったり情報交換して地域のつながりを深める場とする。また、継続していくことで、地域で世代を超えた顔見知りが増え、お互いに見守りあう意識を持てるようになり地域の安心安全につなげる。
期　間：令和５年４月３０日（日）～　令和６年３月２９日（金）
時　間：開催日によって異なる
場　所：那覇市繁多川公民館広場、識名小学校、童夢こども園
対　象：乳幼児から高齢者まで
受講料：無料　　定員：なし　　申込人数：なし　　参加延べ人数：７１６人
共　催：識名小放課後子ども総合プラン会議、識名小ＰＴＳＡ、繁多川地域計画福祉・防災部会

★★　学習プログラム　★★

| 回 | 日　時 | 会　場 | 内　容 | 参加人数 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ４月３０日（日） | 識名小学校校庭 | 泥んこ遊び、水遊び、火起こし、木工、ロープ遊び、昔遊び等（識名小ＰＴＳＡ主催の新入生歓迎イベントの一環として開催） | １３５人 |
| 2 | ５月１４日（日） | 繁多川公民館広場 | 泥んこ遊び、木工、ロープ遊び、しゃぼん玉、、昔遊び等（移動式あそび場リレー参加） | ４５人 |
| 3 | ６月１１日（日）<br>９月１０日（金）<br>１０月１３日（日）<br>１１月２５日（土）<br>１２月２６日（火）<br>令和６年<br>２月　４日（日）<br>３月２９日（金） | 繁多川公民館広場 | 泥んこ遊び、木工、ロープ遊び、しゃぼん玉、、昔遊び、火起こし等 | ２７６人 |
| 4 | ７月２１日（金）<br>２９日（土）<br>８月１８日（金） | 繁多川公民館広場 | ＜夏休みプレーパーク＞<br>手作りプール、泥んこ遊び、木工、ロープ遊び、火起こし、昔遊び等 | １１１人 |
| 5 | ８月２６日（土） | 童夢こども園園庭 | ＜ゆんたくはんたく市場 in 童夢こども園＞<br>泥んこ遊び、木工、ロープ遊び、しゃぼん玉、、昔遊び等 | ８３人 |
| 6 | 令和６年<br>１月２０日（土） | 繁多川公民館広場 | ムーチー作り、泥んこ遊び、木工、ロープ遊び等 | ６６人 |

【参加者の声】
・どろんこ遊びをさせられる場所はなかなかないのでありがたい。

【まとめ】
毎回おたすけ隊（中高生ボランティア）に入ってもらうことで、安全管理や運営面で助けられた。出張があまりできなかったので、次年度は真和志地域の他エリアへも出張できるようにしたい。

## 〔２〕青年講座

### 繁多川公民館おたすけ隊＆インターンシップ受け入れ

趣　　旨：地域の中・高校生を対象に、公民館や地域のボランティア活動を通して、多世代との関わりの中で社会性を育み・認められることで、子どもたちの自己肯定感の向上につながる機会とする。また、こどもたち自身が、自分のやりたいこと・興味のあることにチャレンジできる機会をつくり、将来の地域を担う人材の育成に寄与する。
期　　間：令和５年５月３１日（金）～　令和６年３月５日（火）
時　　間：イベントや講座により変動有
場　　所：那覇市繁多川公民館とその周辺　対　象：中学生、高校生、大学生
受 講 料：無料　　定員：なし　申込人数：８１人（うち受講決定人数８１人）　参加延べ人数：２６０人
参 加 校：寄宮中学校／石田中学校／松城中学校／興南中学校／沖縄工業高校／真和志高校／那覇西高校／那覇みらい支援学校高等部／小禄高校／辺士名高校／球陽高校

★★　学習プログラム（おたすけ隊）　★★

| 期　日 | 内　　容 | 人数 |
|---|---|---|
| ５月３１日（水） | おたすけ隊開講式 | ４２人 |
| ６月１１日（日）～２月２０日（火） | 「はんたがわプレーパーク」（全１１回）へボランティア参加 | ５８人 |
| ６月２８日（水） | 「こども会議」へボランティア参加 | １１人 |
| ７月４日（日） | ボランティア研修（KYT トレーニング）参加 | １１人 |
| ７月２６日（水）～８月２３日（水）、１０月１２日（木）、１２月２７日（水） | 夏休み・秋休み・冬休みプログラム（ポケカ大会、オセロ大会、おやつ作り、将棋大会等　全６回）へボランティア参加 | １６人 |
| ７月３０日（日） | 識名小 PTSA 主催「識名小旧校舎おわかれ会」参加 | ５人 |
| ８月２６日（土） | 「ゆんたくはんたく市場 in 童夢こども園」ボランティア参加 | ７人 |
| ９月３日（日） | 「台風６号どう過ごしましたか？」ワークへボランティア参加 | １人 |
| １０月１４日（土） | 繁多川自治会主催「繁多川まつり」（前日準備、当日）参加 | ３５人 |
| １２月２日（土） | 繁多川自治会主催「豆腐の月」へボランティア参加 | ６人 |
| １２月２５日（日） | 三原区自治会主催「クリスマス会」へボランティア参加 | ２人 |
| １月１４日（日） | 繁多川自治会共催「新春もちつき会」へボランティア参加 | ５１人 |
| １月２４日（水）、２月２１日（水）３月１３日（水） | 松川共同住宅自治会へボランティア協力 | ２８人 |
| ２月１７日（土） | 「第 17 回繁多川公民館まつり」へボランティア参加 | ４人 |
| １０月２日（月）、３月５日（火） | おたすけ隊修了式 | １１人 |

★★　学習プログラム（インターンシップ）　★★

| 期　日 | 内　　容 | 対象校 | 参加人数 |
|---|---|---|---|
| ７月１１日（火）～１３日（木） | 講座・事業サポート、館内整備等 | 那覇商業高等学校 | ７人 |
| ８月１４日（月）～３１日（木） | 講座・事業サポート、館内整備等 | 沖縄国際大学 | １人 |
| １０月１７日（火）～１９日（木） | 講座・事業サポート、館内整備等 | 浦添商業高等学校 | ４人 |
| １０月２４日（火）～２６日（木） | 講座・事業サポート、館内整備等 | 開邦中学校 | １人 |
| １月１１日（木）～１２日（金） | 講座・事業サポート、館内整備等 | 石田中学校 | ３人 |

【参加者の声】
・いつもは出来ない事にチャレンジできたので、これからは自分から進んで色々な事に挑戦して行きたい。

【まとめ】
おたすけ隊は開講式から修了式まで年間のプログラムとして実施したことにより、リピート参加が多かった。

# ５　家庭教育事業

## 〔１〕　家庭教育学級

### 繁多川おやこそだて園

趣　　旨：乳幼児の子どもと親を対象に地域の保育園と連携して公民館で出張保育を行い、親子で楽しめるプログラムの提供等、待機児童の親子や孤立しがちな子育て世代の居場所として、安心して子育てできる地域の拠点を目指す。また、参加者が関心のあることややってみたいことを企画として実施し、保護者が主体的に学べるきっかけとする。
期　　間：令和５年５月１日（月）～　令和６年３月２５日（月）１０：００～１２：００
場　　所：繁多川公民館 実習室／和室
対　　象：那覇市在住・在勤の親子
受 講 料：無料　　定員：５組～１０組程度
申込人数：９２人（うち受講決定人数８６人）
参加延べ人数：６８５人
協　　力：識名さつき認定こども園、長田保育園
　　いしだ丘保育園、童夢認定こども園

≪　活　動　風　景　≫

★★　学習プログラム　★★

| 回数 | 期　　日 | 内　　容 | 担　当 | 参加人数 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 令和５年５月<br>～<br>令和６年３月 | 季節の製作、歌あそび、親子のスキンシップあそび、子育て相談、ベビーマッサージなど | 識名さつき認定こども園、長田保育園、いしだ丘保育園、童夢認定こども園 | ４７５人 |
| 2 | ７月１９日（水）<br>９月２７日（水）<br>１０月２５日（水）<br>１１月２９日（水） | 特別企画　「ハーブ講座」<br>ハーブを日常で取り入れるコツやハーブを使ったレシピの紹介、ハーブの効能などを学ぶ | 講師：上間　美穂子 | ７４人 |
| 3 | １０月１８日（水）<br>１１月　６日（月）<br>１２月　６日（水） | 特別企画　「さらしワークショップ」<br>さらしを使って抱っこ・おんぶ・スリングの方法や災害時に活用を学ぶ | 講師：田浦　麻代 | ４２人 |
| 4 | 令和６年１月２５日（木） | 特別企画<br>「パーソナルカラー講座」<br>自分に合った色を見つけ、自分の魅力をアップさせるパーソナルカラー講座の入門編 | 講師：ＫＵＮＩＫＯ | ２０人 |
| 5 | 令和６年３月　３日（日） | 特別企画「親子で楽しむキッズヨガ」<br>運動神経や集中力アップにつながるヨガを親子で楽しく学ぶ | 講師：田浦　麻代 | １２人 |
| 6 | 令和６年３月２５日（月） | 特別企画「わらべうたふれあい遊び＆離乳食相談会」<br>わらべうたを通した親子のふれあい遊びと子どもの食を学ぶ | 講師：上地　日花 | １４人 |

【参加者の声】
・子育てのことを保育士さんに相談できてよかった。
・毎月色んな企画があって楽しく参加している。

【まとめ】
　今年度は特別企画が盛り沢山で、様々な企画で多くの親子が参加してくれた。興味があっても子どもがいるとなかなか参加できないカラー講座やハーブ講座はとても人気だった。次年度以降も参加者の声や地域のニーズを探りながら、親子で楽しめる企画や交流が生まれる機会を作っていきたい。

# ６　その他の事業

## 〔１〕　地域連携事業

### あたいぐぁープロジェクト

趣　　旨：「昔の繁多川豆腐」を再現する中で、地域の方々の活躍の場作りと地域の子ども達への食文化の継承（味と製造過程）とさらなる地域の活性化に寄与する。

期　　間：通年

時　　間：学習プログラムにて異なる（下記参照）

場　　所：各小中学校

対　　象：上間小学校／識名小学校／真地小学校／沖縄尚学付属中学校／地域の方

受 講 料 ：無料　　定員：なし　　申込人数：なし　　参加延べ人数：１，２４３人

共　　催：繁多川自治会／上間自治会／あたいぐぁープロジェクト／地域住民

★★　学習プログラム　★★

| 回数 | 日　程 | 内　容 | 参加人数 |
|---|---|---|---|
| 1 | ４月２４日（月）～１１月１７日（金） | 真地小学校３学年<br>授業「地域の大豆文化について」<br>在来大豆青ヒグの種まき<br>昔ながらのゆし豆腐づくり体験 | ２０８人 |
| 2 | ９月１２日（火）～１５日（金） | 上間小学校３学年<br>昔ながらのゆし豆腐づくり体験 | ９７人 |
| 3 | ９月８日（金）～令和５年１月２６日（金） | 識名小学校３学２組<br>在来大豆青ヒグの種まき<br>授業「地域の文化や歴史について」<br>授業「昔ながらの豆腐づくりと道具について」<br>昔ながらのゆし豆腐づくり体験 | ５０８人 |
| 4 | １２月２日（土） | 「第１５回　豆腐の月」<br>昔ながらのゆし豆腐づくり体験<br>クルマ棒打ち（脱穀）体験 | ２５０人 |
| 5 | 令和６年１月２７日（土）、３月９日（土） | 沖縄尚学付属中学校１年２組・５組<br>昔ながらのゆし豆腐づくり体験 | １８０人 |

【参加者の声】

・（上間小）石臼が重くて、思ったより回すことができなかった。
・（沖縄尚学）繁多川地域の豆腐の歴史を知り、自分が住んでいる地域も調べてみようと思った。
・（識名小）この地域で美味しい豆腐が作られてきた理由を初めて知った。
・（真地小）種から育てた大豆を使って自分たちで作った豆腐は一番美味しくて、たくさんおかわりした。

【まとめ】

（上間小）豆腐作りの際に、大豆栽培や脱穀作（クルマンボウ体験）が途絶えており、次年度は復活させたい。又、小学校区内へ協力者を声かけした所、２名の協力が得られた。次年度の継続と引続き協力者の発掘を行う。

（沖縄尚学）豆腐作りからの食育講話、繁多川自治会の方が豆腐の歴史講話が行われ地域交流を深めた。

（識名小）今年度は、豆腐づくりを通して地域の文化や歴史、産業など様々な視点で子どもたちと学びを深めることができた。当日は学年レクと合同で開催し保護者も一緒になって豆腐づくりを体験した。

（真地小）４月に種まきした大豆は不作だったが、それも「なぜ」を考えるきっかけとなった。１０月に２度目の種まきを行い、子どもたちは復習しながらさらに学習を深めることができた。

# 識名園友遊会

趣　　旨：真和志地域の誇りである世界遺産・国指定特別名勝「識名園」を会場として活用し、青少年団体等における伝統文化の継承と新しい文化の創造、青少年の健全育成と地域の活性化および文化財保護の啓発を図ることを目的として開催する。
期　　間：令和５年１２月１０日（日）１１時～１４時半
場　　所：世界遺産・国指定特別名勝「識名園」
対　　象：那覇市、真和志地域の人
受 講 料：なし　定員：なし　申込人数：なし　参加延べ人数：３８０人（うちスタッフ・演者８０人）
主　　催：識名園友遊会実行委員会
共　　催：那覇市

★★　学習プログラム　★★

＜ 沖縄拳法空手古武道協会 ＞

＜ 安里フェーヌシマ ＞

＜ 松島青年エイサー ＞

＜ 真和志泰平 旗頭 ＞

＜ 上間伝統芸能 ＞

【参加者の声】
・何故番屋の前で空手をやっているか分からなかった、司会の説明で関連性を知りなるほどと思った。
・識名園内での地域芸能鑑賞は豪華な気分になりとても良かった。

【まとめ】
識名園友遊会は前年度、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点からイベントとしては中止となった。その代わりとして真和志地域の高校（沖縄尚学、興南高校、真和志高校）、那覇市文化財課と連携し、識名園に「県内の若い人が識名園に来る為には」という企画を学生が考え発表するというプレゼン大会を開催した。今年度は、プレゼン大会から生まれた企画をもとに園内で地域芸能が体感できるイベントの実施となった。
今回の演出ポイントとして回遊型庭園の特性を活かし、お客さんが地域芸能を体感しながら識名園を知る事ができる仕掛けを施した。番屋に所縁のある有名な武道家 松村宗棍と絡めた空手演舞、六角堂近くではトゥールー（灯籠）に六角堂を付けた旗頭の演舞などを行った。
久しぶりの園内開催は、識名園の新しい活用方法の可能性が見えた友遊会となった。

# 真和志地区地域活性委員会

趣　　旨：自治公民館及び自治会相互の連絡提携や学習活動等を通し、真和志地区の教育力の向上を図る。
期　　日：令和６年３月１８日(月)　１８時半～２０時（役員会）
場　　所：真和志支所２階　会議室（役員会）
対　　象：真和志地域の各自治会会長
参加延べ人数：１０人（役員会）

＜組織構成＞

委 員 会：真和志地区自治会（４０自治会）

委 員 長：西平 博人（真和志自治会長連絡協議会副会長）

副委員長：門下 長徳（県営繁多川高層住宅自治会会長）

副委員長：比嘉 恭一（有限会社白バラ洋菓子店社長）

事務局長：南 信乃介（那覇市繁多川公民館長）

顧　　問：久貝 斉（真和志支所支所長）

顧　　問：田島 繁　（真和志自治会長連絡協議会会長）

顧　　問：玉井 栄良（安里２区自治会会長）

顧　　問：砂川 龍也（那覇市中央公民館館長）

相 談 役：宮城 能彦（沖縄大学）

相 談 役：濱川 尚志（那覇市地域包括支援センター繁多川）

相 談 役：座間味 亮（株式会社赤マルソウ社長）

相談役（新）：新本 博司（那覇市社会福祉協議会）

相談役（新）：中村 丘学（包括支援センター松川）

相談役（新）：大友 弥生（包括支援センター松島）

【参加者の声】
・自治会リサーチ事業には是非参加したい
・自治会主体で企業と連携することに、新しさを感じました
【まとめ】
　当委員会は、地域課題にアグレッシブに対応していく為に編成された真和志自治会長連絡協議会の下部組織だ。役員は自治会長、地域企業、地域大学、包括支援センター、那覇市公民館、真和志支所といった多様なメンバーとなっている。
　今年度は昨年度行われた、地域後継者育成助成金創設に向けた資金造成事業（白バラ洋菓子店とのコラボ事業、繁多川公民館での物産展開催）の報告と、次年度へむけた話し合いを中心に行われ、次年度の委員会の方向性として助成金創設の準備を進めていくことや引き続き資金造成事業を行っていく事が決まった。また、「新しい物産展の開催」「企業との新規連携事業」「自治会リサーチ事業」などは、引き続き検討していく事となった。

# 公民館フリースペース活用事業

趣　　旨：地域住民の交流の場と情報交換ならびにコミュニケーションを深める場として、２階ロビーや３階ホワイエでの展示・利用、広場や屋上の活用などを行う。また、必要に応じて環境を整備していく。

期　　間：令和５年４月～令和６年３月　　時　　間：９：００～２２：００

場　　所：那覇市繁多川公民館　２階ロビー、３階ホワイエ、階段掲示板、広場、屋上

見学延べ人数：２，８１９人

★★　展示内容　★★

| 回 | 期間 | タイトル | 提供（協力）先 |
|---|---|---|---|
| 1 | ４月～５月 | 季節展：こいのぼり | 地域住民 |
| 2 | | 真地小学校３年　豆腐づくり紙芝居展示 | 真地小学校 |
| 3 | ６月～７月 | 季節展：七夕 | 地域住民 |
| 4 | ７月～８月 | 石田中学校　平和学習展示 | 石田中学校 |
| 5 | １２月 | 季節展：クリスマスツリー | 繁多川公民館 |
| 6 | | 繁多川まつり写真展 | 繁多川自治会 |
| 7 | ２月～３月 | 子どもの居場所：作品展 | 繁多川公民館 |
| 8 | | 季節展：雛人形 | 繁多川公民館 |
| 9 | ３月３日（日）～３１日（日） | 宮城ヨシ子　写真展 | 宮城ヨシ子 |
| １０ | | 繁多川すぐりむんパネル展 | 繁多川すぐりむん推進委員会 |
| 常設設置 | 通年 | こども服のおさがりマーケット | 地域住民 |
| 常設設置 | 通年 | 屋上の畑活用 | いどばた学童クラブ<br>地域住民 |
| 常設展示 | 通年 | 高齢者に関する啓発展示<br>・認知症　・口腔ケア　・熱中症<br>・介　護　・虐待など | 那覇市地域包括支援センター松川・繁多川 |
| 常設展示 | 通年 | ・昔の暮らし展<br>・昔ながらの豆腐づくり展<br>・壕の中で発見された遺留品展 | 地域住民 |

【まとめ】

今年度は、展示のみならず屋上の畑の活用など地域の方々にたくさん利用して頂いた。また、学校と連携し子ども達の日ごろの成果を掲示することもできた。

次年度も沢山の地域の方に公民館を活用して頂けるような仕組みを考えていきた。

# 新春もちつき会

趣　旨：子どもから高齢者の交流を目指し、新春もちつき会を開催する。地域で活躍する団体や若者と連携し、地域の活性化を目指す。又、文化活動団体への活動発表の場を提供し、来館者が伝統文化に触れる機会を設ける。
期　日：令和５年１２月２７日（水）　　ボランティア説明会　１６：００～１７：００
　　令和６年　１月　６日（土）　　新春もちつき会　　９：００～１３：００
場　所：那覇市繁多川公民館　３階ホール、２階実習室
対　象：繁多川地域周辺の人　　受講料：無料（※マイ食器持参）　　定員：なし　申込人数：なし
参加延べ人数：２５０人（ボランティア４７人）
共　催：繁多川自治会
出演団体：繁多川子ども会 はばたき
ボランティア参加校：沖縄工業高校、真和志高校、石田中学校、寄宮中学校、松城中学校、興南中学校

★★　学習プログラム　★★

| 回数 | 日　程 | 内　容 | 参加人数 |
|---|---|---|---|
| 1 | １２月２７日（水） | ・ボランティア説明会 | ４３人 |
| 2 | 令和６年１月６日（土） | ・会場設営、リハーサル<br>・オープニングエイサー（繁多川子ども会 はばたき）<br>・もちつき体験・交流（かるた大会／おはなし会）<br>・ボランティア振返り会 | ２５０人 |

≪会場設営≫

≪オープニングエイサー≫

≪もちつき指導≫

≪もちつき体験≫

≪トッピング≫

≪おはなし会≫

【参加者の声】
・つきたての餅は美味しく、ついついおかわりをしました。
・ようやく、日常が戻ってきたと実感した。

【まとめ】
注文した餅が柔らかく、もちつき体験が予定より早く終わった為、かるた大会やおはなし会（繁多川図書館）を予定時間より繰上げて実施した。
コロナ５類移行により、５年ぶりに通常開催で沢山の参加者が来館され、つきたての餅を振舞うことができた。自治会員や中高生ボランティアの参加が多く、運営面で凄く助けられた。

## 〔２〕　学社融合事業

### キャリア教育プロジェクト

趣　　旨：平和学習では、戦争体験者から体験談を話すことによって、戦争の悲惨を後世へ伝えると共に、戦争体験者の記録を残す。お仕事先生では、働くとは何か？体験談を話す事によって、個人の視野を広げ今後の進路に役立てるきっかけとなる。多様化する学習内容の中、学校側が希望する職種とのコーディネートを行う。県外の小中高との地域特色や平和学習の交流を広める。地域学習では歴史／文化を学び地域散策により、地域への親しみを感じ、地域の活性化に寄与する。

期　　間：令和５年６月９日（金）～ 令和６年２月３日（金）
時　　間：授業時間帯に実施
場　　所：那覇市繁多川公民館及び各中学校
対　　象：那覇市立小中学校／県外の小学校
受 講 料 ：無料
定　　員：なし
申込人数：なし
参加延べ人数：１，１４６人

≪卒業生（石田中卒）による講話≫

★★　学習プログラム　★★

| 回数 | 日　程 | 内　容 | 参加人数 |
|---|---|---|---|
| 1 | ６月　９日（金）<br>６月１６日（金）<br>６月３０日（金）<br>７月　７日（金）<br>９月２９日（金）<br>１１月１４日（火）<br><br>７月１１日（火）<br>３月　４日（月） | 那覇市立石田中学校２学年総合学習・家庭科<br>・石田中学校区歴史講話<br>・４自治会長講話（繁多川／真地／識名／上間）<br>・職業人講話<br>・地域まーい（繁多川／真地／識名／上間）<br>・学習発表会<br>・地域学習<br>那覇市立石田中学校３学年家庭科<br>・浴衣の着付け体験学習 | ３６６人 |
| 2 | ６月１６日（金） | 沖縄県立那覇みらい支援学校平和学習<br>講師：久高　将一 | ９８人 |
| 3 | ７月２２日（木） | 那覇市立石田中学校平和学習<br>講師：波平　元維 | ３６０人 |
| 4 | ７月　７日（金） | 那覇市立石田中学校１学年総合学習<br>・職業人講話 | １１２人 |
| 5 | ７月１４日（金） | 那覇市立寄宮中学校２学年総合学習<br>・職業人講話 | １６２人 |
| 6 | １１月１１日（土） | 福岡・沖縄 親子オンライン平和学習<br>講師：波平　元維 | ４８人 |

【まとめ】
企業人講話では、石田中学校２年生には卒業生や地域事業所を集め、石田中学校１学年／寄宮中学校２学年では、多種多様な企業人等、全て異なった仕組みの工夫を行った。また那覇みらい支援学校と石田中学校の生徒向けに平和学習を行った。戦争を知らない世代にも自分事として考えてもらうために、当時の写真や地図などをスライドで紹介しながら、生徒との対話形式で進行した。　体験者の声を通して命の尊さや、他者を理解しようとすることなど平和な社会につながる学習機会となった。講師の久高さんからは「戦後もずっと亡くなった父の事を考えていた。父が生きていると信じて国際通りに立っていた。自分を大事にしなさい。」波平さんからは「イチャリバチョーデー（行き会えば兄弟）と言うように、世界中の人と友達になりなさい。」と若い世代へのメッセージが送られた。

## 〔３〕　プロポーザル事業
## コミュニティー支援

### 地域計画　教育部

趣　旨：「地域の子どもは地域で育む」をスローガンに、識名小校区のすべての児童が放課後を安全・安心に過ごせるように、学校・地域・行政が連携して取り組むことを目指し、現状把握や事業の検討・実施などを包括的に行えるような議論の場を設ける「識名小放課後子ども総合プラン会議」、居場所づくりの実践「プレーパーク」を実施する。
期　間：令和５年６月３０日（金）～ 令和６年３月２９日（金）会議２回、研修会１回、特別企画
時　間：下記参照
場　所：那覇市繁多川公民館、那覇市立識名小学校
対　象： 識名小学校、識名小ＰＴＳＡ、民生委員児童委員、家庭教育支援員、識名児童クラブ、童夢児童クラブ、いどばた学童クラブ、識名さつき学童クラブ、識名児童館、繁多川自治会、識名自治会、識名１丁目自治会、県営繁多川高層住宅自治会、県営松川団地自治会、那覇市子ども政策課、那覇市生涯学習課、近隣住民
受講料：無料　　定員：なし　　申込人数：なし　　参加延べ人数：５３９人

★★　学習プログラム　★★

| 期　日 | 内　容 | 参加人数 |
|---|---|---|
| ６月３０日（金） | 会議（放課後の現状共有・地域の子どもの居場所について） | ２２人 |
| 夏休み特別企画 | イラスト教室・グラレコ・演劇ワークショップ・卓球・プレーパーク・オセロ大会・ポケカ大会 | ２５７人 |
| ９月　８日（金） | 研修会「届けたい教育を学校と家庭と地域で叶える」<br>講師：中原　あすか（YUIMAWARU 株式会社） | ２７人 |
| 秋休み特別企画 | イラスト教室・プレーパーク・将棋大会 | ６３人 |
| 冬休み特別企画 | ポケカ大会・プレーパーク・書初め教室・イラスト教室 | ７３人 |
| ３月１５日（金） | 会議（放課後の現状共有・コミュニティスクールについて） | ２８人 |
| 春休み特別企画 | プレーパーク・木工豆皿作り・オセロ大会・缶バッジ作り・卓球・イラスト教室 | ６９人 |

≪会議の様子≫

≪ポケカ大会の様子≫

≪イラスト教室の様子≫

【参加者の声】
・イラストの描き方や色の塗り方を習えてうれしかった。（特別企画）
・ポケカ大会で負けて悔しかった。（特別企画）
・発達障がいへの理解は広がってきているが、作業療法の視点から見る子どもへのアプローチについて初めて知ることができた。（地域向け研修会）

【まとめ】
識名小放課後総合プラン会議の中で、子どもたちが立ち寄れる地域の居場所を紹介する動画づくりや、地域と学校が連携をして取り組むコミュニティスクールへの理解を深めることができた。また、長期休みに特別企画を行ったことで、多くの子どもたちの参加があり、子どもたちが自主的に企画をしたりお手伝いをする様子が見られ、子どもたちが公民館へ集い、自然と地域へ関わる機会が作れた。

# 地域計画 福祉・防災部

趣　　旨：少子高齢化の中、財政の厳しさも増し、公共が担い続けられる事業も縮小傾向にある。また、新型コロナウイルス感染症の流行により、さらに高齢者の孤立、孤独死、多くの課題を抱える家庭、正社員やフルタイムで働いているにも関わらず、生活保護の水準以下しか収入が得られない働く貧困層「ワーキングプア」などが浮き彫りになった。
そのような地域課題を住民自らの手で解決できるような仕組づくりに寄与する。

期　　間：令和５年４月～令和６年３月
時　　間：実施内容により異なる
場　　所：繁多川公民館およびその周辺
対　　象：那覇市在住・在勤・在学及び興味のある人　　受 講 料：無料
定　　員：なし　　申込人数：なし　　参加延べ人数：４２９人
共　　催：那覇市地域包括支援センター繁多川
協　　力：繁多川自治会、県営繁多川高層住宅自治会
繁多川市営住宅自治会、那覇市防災危機管理課、那覇市立識名小学校
那覇市まちなみ整備課、琉球大学清水研究室、童夢認定こども園ほか

★★　学習プログラム　★★

| 回 | 期　日 | 内　容 | 参加人数 |
|---|---|---|---|
| 1 | ５月１２日（金） | 火を囲んでユンタク会 | ７５人 |
| 2 | ６月　９日（金） | ゆんたくはんたく市場 in 県営繁多川高層住宅 | ２０人 |
| 3 | ７月　１日（土） | 「住まい」と「まちづくり」に関するアンケート調査結果のご報告及び第１回ゆんたく会 | ２１人 |
| 4 | ８月２２日（火） | 識名小学校防災ツアー | １７人 |
| | ８月２６日（土） | ゆんたくはんたく市場 in 童夢認定こども園 | ８３人 |
| 5 | ９月　３日（日） | 台風６号どう過ごしましたか？<br>- あなたの体験お聞かせください- | ２１人 |
| | １２月１６日（土） | 「住まい」と「まちづくり」に関する第２回ゆんたく会 | １０人 |
| 6 | 令和５年<br>２月　８日（木）<br>１６日（木） | 地域計画策定会議～地域計画評価・次年度計画検討～ | ３１人 |
| 7 | ３月２４日（日） | ゆんたくはんたく市場 in 繁多川公民館 | ３２人 |
| 8 | 随時 | 関係者の定例ミーティングなど | １１９人 |

【参加者の声】
・実際に避難所で使用するテントなどを組み立てることができてよかったです。
・台風時に困ったことなどをみんなで共有する場があってよかったです。

【まとめ】
今年度は、防災についての取り組みを多く実施し学校とも連携した講座を行うことができた。今年は８月に台風６号が起こり大規模な停電や断水が起こったことで、防災について学びたいというニースが、例年より高まった。
引き続き、防災や福祉の観点から地域課題を住民自らの手で解決できるような仕組づくりが求められる。

（繁多川公民館）

# グローバル公民館～世界へ羽ばたこう～

趣　　旨：「アラブの春」後の民主化が起こったエジプトで、日本の民主化を支えた公民館設立に貢献し、公民館の活用の幅を広げ社会教育を促進する。また、合同講座グローバル公民館を開講し、相互のまなびあいを通してグローバル人材の育成とする。
期　　間：下記プログラム参照　　時　間：下記プログラム参照
場　　所：繁多川公民館およびその周辺、エジプトカイロ近郊
対　　象：那覇市在住・在勤及び興味関心のある方　　受講料：各講座により異なる
定　　員：各講座により異なる　参加申込：各講座により異なる　　参加延べ人数：３２３人

★★　学習プログラム　★★

| 回 | 日　　程 | 内　　容 | 講　師 | 参加人数 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ８月１２日（土） | 「Kaiwa Club」<br>（オンライン国際交流） | 共催：Egyptian 公民館<br>講師：なし | １１人 |
| 2 | ９月２２日（金）<br>９月２９日（金） | 第１回<br>「漢字の基礎と基本的な使い方①」<br><br>第２回<br>「漢字の基礎と基本的な使い方②」 | 共催：Egyptian 公民館<br>講師：大見謝まきこ<br>（日本語講師）<br><br>講師：大見謝まきこ<br>（日本語講師） | １６人 |
| 3 | １０月２４日（火） | 識名小学校５年生特別授業<br>「エジプトについて学ぼう」 | 共催：Egyptian 公民館<br>講師：Hany Nady（国立アインシャムス大学）、Mai Saleh（国立アインシャムス大学） | １０４人 |
| 4 | １０月２４日（火） | 「エジプトから<br>めんそーれ一歓迎会」 | 共催：Egyptian 公民館<br>講師：なし | ８６人 |
| 5 | １０月２７日（金） | 「公民館的場づくりとコーディネーターが育まれ続けるためには」 | 共催：Egyptian 公民館<br>講師：なし | ２１人 |
| 6 | 令和６年<br>３月２１日（木） | 「エジプトで日本の公民館の取り組みを広めたＮＰＯのおはなし」 | 共催：JICA 沖縄 | ８５人 |

【参加者の声】

・英語を話す機会がなかなかなかったので、このような機会があってよかったです。
・漢字を書くのは難しいけどもっと挑戦したいと思いました。
・オンラインでしかあったことがなかったので、実際に会えてとてもよかったです。

【まとめ】

今年度は、エジプトから実際に５人の方が来沖され、地域の方との交流や小学校での授業などを実施することができた。

来沖で見えてきたことを活かした講座の企画・実施を行うことで、グローバルな人材育成が期待できる。

## 7　公民館まつり

利用団体成果発表会

書道展
春眠不覚暁
青松多毒色

利用団体成果発表会

利用団体成果発表会

あたいぐわー
プロジェクト

利用団体成果発表会

# 第17回
# 繁多川公民館まつり
## ～利用団体連絡会成果発表会～
## 2024年２月17日(土)

### 舞台の部
**13:00～16:30**
**場所：3階　ホール**

・琉舞　・和太鼓
・民踊　・合唱
・フラダンス
・体操　・ギター
・エイサー
・ステップダンス　等

### 展示の部
**9:00～16:00**
**場所：2階　研修室１**
**ロビー**

・パソコン作品
・裁縫作品
・書道作品
・活動内容紹介　等

### 販売の部
**10:00～16:00**
**場所：1階　ロビー**
**2階　ロビー**

・カレーライス　・ぜんざい
・みたらし団子　・焼き芋
・青ヒグパン　・野菜
・レースたわし　・小物
・手作り和紙工芸　等

### 体験の部
**場所：2階　研修室2**
**ロビー**

・ブックシェアリング
・三線
・アロマジェル作り
等

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
※市内線 5番又は14番「繁多川」停留所 徒歩1分
主催：那覇市繁多川公民館利用団体連絡会
共催：那覇市繁多川公民館

お問合せ
那覇市繁多川公民館
TEL:098-917-3448
(平日:9時～17時)

# 第17回 繁多川公民館まつり
## 利用団体成果発表会

# 舞台の部 プログラム（13:00～16:30）

| | 団体名 | 内容 | 予定時間 |
|---|---|---|---|
| 1 | 千和会 | 「かぎやで風」 | 13:00 |
| 2 | 主催者あいさつ | 利用団体連絡会 会長 嶺井るみ子 | 13:10 |
| 3 | 繁多川太鼓同好会 | 「子守節」「鶴亀節」「湊くり節」 | 13:15 |
| 寿 | 繁多川民踊サークル | 「遊びかりゆし」 | 13:25 |
| 5 | のびのび体操 | 三線「安波節」「なりやまあやぐ」<br>オカリナ演奏「荒城の月」「アーニーローリー」「野に咲く花のように」 | 13:30 |
| 6 | ひばりが丘女声コーラス | 「銀色の道」「ふるさとの四季」 | 13:45 |
| 7 | フラサークル ハープナプナ | 「レイハリア」 | 13:55 |
| 8 | 自彊術体操・自彊術健康体操 | 自彊術体操 | 14:05 |
| 9 | 繁多川ギターサークル | ギター演奏 | 14:15 |
| 10 | 日舞同好会「花乃会」 | 「細め雪」 | 14:25 |
| 11 | 那覇市繁多川公民館長あいさつ | 館長 南 信乃介 | 14:35 |
| 12 | 石田中学校 2年1組 | 合唱「時を越えて」 | 14:40 |
| 13 | 繁多川子ども会はばたき | 「七月節」「シンカヌチャー」 | 14:55 |
| 14 | 合唱団コールフロイデ | 「春のメドレー」「オーソレミヨ」 | 15:10 |
| 15 | 繁多川吟友会 | 「名鎗日本号」ほか（4吟） | 15:20 |
| 16 | 繁多川カラオケ教室 | 「谺（こだま）」三山ひろし<br>「春の夢」松永ひとみ | 15:30 |
| 17 | 繁多川島くとぅば会 | うちなーぐち寸劇「経塚ぬ謂り」 | 15:40 |
| 18 | T・S卓球サークル | ステップダンス | 15:50 |
| 19 | 創作衆～桜輝～ | 「グスージサビラ」<br>「ダイナミック琉球」 | 16:00 |

# 第17回繁多川公民館まつり
# 会場案内

## 3F

【舞台発表】

定期利用サークル、地域団体による舞台発表

【受付】

【記念撮影コーナー】

## 2F

【展示】

・シニアのパソコン　・書道サークル大倫

・フォトグラファーゆき　・那覇市子連

【体験】

・ビブリオサポートいずみ　・KANON三線

・那覇市地域包括支援センター繁多川

【販売】

・サークル円　・識名小家庭教育支援会議

・Y&M　・子どもの居場所

## 1F

【販売】

・NPO法人オリーブの木（まぁーじ）

・あたいぐぁープロジェクト

・いまいパン